

ザクセンにおける日本人(1)

松 尾 展 成

目 次

初めに

1. ザクセン (滞在都市不明)
2. グローセンハイン
3. ミットヴァイダ
4. リーザ
5. グリマ
6. ツィッタウ
7. バウツェン
8. ケムニッツ
9. ターラント ①林業大学 ②受け入れ機関不明
10. フライベルク ①鉱業大学 ②受け入れ機関不明, その他
11. ドレースデン ①ザクセン軍団 ②工業大学 ③ホテル・ベルヴェー建設
④受け入れ機関不明, その他 (本号)

初 め に

本稿の目的は、日本とザクセンの文化交流史を解明するための基礎的作業の一つとして、ザクセンに3月以上⁽¹⁾滞在した日本人の名簿を作成することにある。ここで「ザクセン」とは、1815年のウィーン会議によって領土の縮小したザクセン王国、両大戦間期のザクセン邦、第二次大戦以後のドイツ民主共和国（いわゆる東ドイツ）時代のドレースデン、カルル・マルクス・シュタットおよびライプツィヒの3県、1990年のドイツ再統一以後のザクセ

ン州を指し、プロイセン王国（ないし邦）ザクセン州の領域（およびその後継行政区域）を、したがって、ヴィッテンベルク大学を含まない。

ザクセンに3月以上滞在した最初の日本人は、1873年に到着した今井（岩佐）巖（フライベルク）と木下周一（ライプツィヒ）の二人であった。本稿は彼ら以後、ザクセンに滞在した日本人を、滞在地別に記載する。滞在地は、滞在城市不明の1.を除いて、滞在者の少ない順に配列した。

姓名は当用漢字を用い、配列は姓の、次いで、名の、五十音順による。その後には姓名を、読み仮名を逐語的に変換したローマ字で表記した。日本出発以前の旧姓と旧名、および、号は原則として表示しない。Rauck 1994においてドイツ側の資料が発掘されたが、姓名の漢字が不明の人は、平仮名とローマ字で示した。ザクセンの滞在期間が3月以内とされている人、および、ローマ字の姓だけが判明して、ローマ字の名ばかりでなく、出身地、生没年、日本における学歴・職歴も不明である人は、本稿に含まれない。

各人について、(a)は出身地（あるいは本籍地）の現在の都道府県名と生年、さらに、物故者にあつては没年、(b)はおおまかな専門分野、(c)は日本の最終学歴とその卒業（あるいは退学）年、(d)は（最初の）出国時の地位、(e)は帰国後における最終の地位、(f)は各人の外国（ザクセン以外のドイツとドイツ以外の外国を含む）滞在期間の全体と経費負担者、(g)はザクセンにおける所属機関とその期間（月日は省略）、(h)は典拠を示している。なお、(b)において、教育学は文学に、薬学は医学に、工業デザインは工学に含めた。(c)の学歴は大学までとし、大学院は省略した。また、——帝国大学は単に——大とし、——帝国大学一科大学は一大・一（例えば医）とした。さらに、第一高等学校医学部は後身の——医専に含めた。(e)の地位は、学部長・貴族院議員・枢密顧問官・爵位や名誉職を含まない。(f)では、ドイツ民主共和国時代の大学、自由ドイツ労働組合同盟（FDGB）あるいは諸国民友好連盟（Liga）は、簡単のためにドイツ民主共和国に一括した。これら各項目について、不明の場合には、不明あるいは？とした。私の勤務地である岡山県の

関係者は、いくらか詳しく記載した。一都市でまとまった所属先がある場合には、その都市を、①ザクセン軍団、②工業大学のように、まず区分し、各人の(g)の受け入れ機関名は省略した。ライプツィヒ大学ヘルダー・インスティトゥートの語学研修は同大学に含めた。ある機関と想定される場合には、?を付けて、その機関に含めた。11. ドレスデンと12. ライプツィヒにおいて、受け入れ機関不明の（つまり、ドレスデン工業大学、ライプツィヒ大学などに所属しない）軍人は、その旨を記して、ザクセン軍団ないし軍関係に一括した。ドレスデンとライプツィヒにおいて「受け入れ機関不明、その他」に区分された人の中には、研究者が少なくない。彼らはドレスデン工業大学ないしライプツィヒ大学と何らかの関係があるのではなからうか。

人名は、第一次世界大戦までの時期については、まず Rauck 1994を基礎とし、確認と補正のために、いくつかの文献を参照した。この時期に関しては、フライベルク鉱業大学留学生を対象とした論文⁽²⁾のほかに、総合的な著作がすでに刊行されている。しかし、後者は西洋への渡航者全体を対象にしているために、ドイツ、いわんやザクセンについては、記載人数が多くない。多くの参考文献を記載している点で貴重な富田 1985が、そうである。渡辺 1977, 1978には典拠がなく、誤植が多い⁽³⁾。手塚 1992(1)(2)を私はあまり利用できなかった⁽⁴⁾。

第一次大戦以後については、網羅的な資料を私は見出すことができなかった。本稿では、両大戦間期の主たる資料として、刊行されているライプツィヒ大学ハイゼンベルク教授理論物理学演習参加者名簿 (Kleint 1993)、ライプツィヒ音楽・演劇大学から送られてきたライプツィヒ音楽大学日本人留学生者名簿 (LeMu 名簿と略記)と朝永振一郎「滞独日記」(朝永日記と略記)などを取り上げた。朝永日記は姓のみを記しているが、私は数人の日本人留学生者に関しては名と経歴を明らかにすることができた。また、朝永を夕食に招待したベルン氏の日本人妻については、12. ライプツィヒ⑤「受け入れ機関

不明、その他」の「ベルン たか」の項を、日系二世のクゼ嬢については、同じく「久世武司」の項を参照されたい。

ドイツ民主共和国時代に関しては、第1に、私の知りえた刊行物（ただし、『全国大学職員録』を除く）に基づく。第2に、1978年から85年にかけて鹿島建設（株）はライプツィヒに高層ホテルのメルクーアを、ドレースデンに、18世紀風外観を持つホテル・ベルビューを建設したが、同社人事部は派遣技術者の一覧表（鹿島メモと略記）を私に提供された。第3に、ライプツィヒ大学に学んだ大沢覚講師は、関係者とも打ち合わせのうえ一覧表（大沢メモと略記）を作成してくださった。第4に、ライプツィヒ大学は、私の業績を申告させた後で、同大学ヘルダー・インスティトゥートの日本人研修生15人の名簿（LeHe 名簿と略記）を送ってくれた。この名簿で上記大沢メモと重複する人は、一人しかいない。しかしながら、私はこの名簿の該当者氏名を『全国大学職員録』にほとんど見出すことができなかった。第5に、私は加茂詮教授、小沼隆一郎画伯、犬飼欽也教授、酒井晨史教授などを通じて、数人のザクセン滞在者を知ることができた。第2以下の滞在者に私は質問状を送った。それに対する回答がなかった人および記載を辞退された人は、『全国大学職員録』に明示されていても、本稿には記載されていない。

(a)から(g)までの各項目に関して、説が分かれている場合が少なくない。本稿では、原則として一つを取り上げ、それぞれの典拠を簡単に示した。

本稿で取り上げた日本人について、姓名の漢字や読み、あるいは、経歴について、不明の部分が多い。また、私の調査が不十分であるために、本稿に含まれていない日本人も、少なくないであろう。そのために私は先学・同学諸氏の教示を切望している。

本稿の作成に際して教示と援助を与えられた、ミヒャエル・ラウック助教授、日本の多くの個人・機関、とくに、大沢覚講師、理論物理学会事務局、鹿島建設（株）人事部、岡山大学経済学部資料室と、私の突然で不躰な質問状に回答してくださった方々に、そしてまた、ザクセン州立中央文書館、ザ

クセン州立ライプツィヒ文書館、ケムニッツ市立文書館、ザクセン州立図書館、ライプツィヒ大学、ライプツィヒ音楽・演劇大学、ドレーズデン工業大学（かつてのターラント林業大学も、現在ではここに統合されている）、フライベルク鉱業大学などのザクセンの諸機関に、心から感謝する。ただし、本稿に掲げる際には、敬称は省略させていただく。もちろん、東京大学理学部のように、回答が一切得られなかった機関も少なくない。関係資料がすでになくなっている、と回答された機関も同様である。

注

- (1) ここで、さしあたり3月以上とした理由は、次のとおりである。ザクセンに留学した日本人の詳細な日記は、私の知るかぎり、森嶋外と朝永振一郎のそれである。まず、嶋外はすでにドイツ到着時にドイツ語能力を身に付けていた、と『獨逸日記』に従って信じられてきた。しかし、家族教師を雇って、「留学当初の1年間、彼が心血を費いだのは他でもないドイツ語の勉強だったのではないか」、その結果として彼は最高水準のドイツ語能力を獲得したのではないか、との疑問が近年提出されている。中井 1996, pp. 208-213。次に、1937年6月22日にライプツィヒに到着した朝永は、最初の3月あまりをドイツ語の研修に費やした。37年10月5日の書簡に、「小生はやっとドイツ語を卒業にして本職をこれからみっちりやるつもりです……。今日インスティチュート（ハイゼンベルクの研究所——松尾）に出て少ししょげているところです（今までインスティチュートは敬遠していたのです）」（以上、朝永 1985, pp. 216, 219）、と状況を書き送っている。さらに、すでに外交関係の成立以前から日本ドイツ友好協会と日本労働組合総評議会の推薦で東ドイツに招聘された人々の多くは、3月ないし1年間ライプツィヒ大学ヘルダー・インスティトゥートでドイツ語の研修を受けた。これは、西ドイツのドイツ学術交流会（DAAD）が、留学生各人のドイツ語能力に応じて義務づけた語学研修にはば照応する。最後に、東ドイツとの外交関係が樹立された1973年に、ようやく同国への渡航を文部省から許可されて、講義の聴講や、学会・演習での報告などとはまったく無関係に、つまり、ドイツ語会話能力がほとんどないままに、その夏をドレーズデンで過ごした私自身の経験では、国立ドレーズデン文書館（現在のザクセン州立中央文書館）の開館時間はそれほど長くなかった。また、所蔵文書の分類目録はかなり作成されていたが、その複写もマイクロフィルム撮影も許されていなかった。手稿文書に初めて触れる私には、一夏では土地負担償却関係手稿文書の存在を確認し、その解説の手がかりを掴むのが、精一杯であった。同文書館の開館時には私は、開館時間の一層長いザクセン州立図書館に行き、用意しておいた文献カードに基づいて、書物と雑誌論文に目を通し、必要部分のマイクロフィルムを依頼したのであった。

もちろん、例外もある。明治期鉱山経営・行政の功労者である大島高任（岩手 1826—1901）は、岩倉使節団（1871—73年）に同行して、米国とヨーロッパを視察したが、途中の72年12月17日に単独で、ザクセン鉱山・精錬業の中心地フライベルクに赴き（したがって、ザクセンに滞在した最初の日本人は、上記今井と木下よりも少し早く到着した彼であろう）、丸1月あまり精力的に視察した。すなわち、雇い入れた冶金技術者に質問し、鉱山と精錬所を見学し、分析器具と参考書を購入した。この視察は7年後の官営小坂鉱山の経営近代化に貢献した、とされている。植田 1995, pp. 1-7. さらに、本田 1991(a), pp. 129—147; 富田 1985, pp. 146—147; 日本人名 (1), pp. 552—553を参照。

(2) 佐々木 1985; 木本 1993.

(3) 例えば、横手千代之助の名は千代之助（横田 1978, p. 841）、千代之（横田 1978, p. 800）、千之助（横田 1978, 索引, p. 19. — ここでは1978, p. 800だけが挙げられている）となっている。

(4) この書物では、渡航時所属機関・地位が文部省、施設主要スタッフ（あるいは補助者）、または、陸軍省、士官級軍人など、渡航費用が公費あるいは私費、とのみ記されていて、具体性に欠ける。また、日本の出身学校の卒業年の記載もない。さらに、鉱業大学の所在地フライベルクは常にフライブルクと誤記されている。

1. ザクセン（滞在都市不明）

(1) 井上 匡四郎 (INOUE, Tadashirou) (a) 熊本 1876—1959. (b) 工学. (c) 東大・工 1899. (d) 東大・工・助教授. (e) 東大・工・教授; 鉄道大臣; 技術院総裁. (f) 文部省 1901—07; 経費不明 1912. (g) 受け入れ機関不明 1912. (h) Rauck 1994, p. 134; 日本人名 (7), p. 85; 渡辺 1978, p. 864; 秦 1981, p. 26 ((g), (e)); 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 120 ((f)); 華族 1996(1), p. 189.

(2) 桂 与一 (KATSURA, Yoichi) (a) 東京 (?) 1882—1913. (b) ? . (c) ? . (d) (合名) 藤田組・重役. (e) 藤田組・重役. (f) 企業 1912. (g) 受け入れ機関不明 1912. (h) Rauck 1994, p. 173; 同和 1955, 付表2; 大正過去帳 1973, p. 19; 華族 1996(1), p. 425.

2. グローゼンハイン (Großenhain)

(1) 田村 (田中) 守衛 (TAMURA [TANAKA], Morie) (a) 山梨 1871—1923. (b) 陸軍. (c) 陸軍大 1901. (d) 少佐. (e) 中将. (f) 陸軍省 1907—09 (?). (g) 第1軽騎兵連隊 1908. (h) Rauck 1994, p. 400; SAD, Nr. 4733; 日本人名 (4), p. 191 (姓は田中); 日本軍 1971, p. 276; 大正過去帳 1973, p. 281.

(1a) 田中 守衛 (TANAKA, Morie) — 2. グローゼンハイン(1)田村 (田中) 守衛 (TAMURA [TANAKA], Morie) を見よ。

3. ミットヴァイダ (Mittweida)

- (1) まの ためぞう (MANO, Tamezou) (a)きたよしま郡(?) 1882—19??. (b)工学. (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 1902(?)—08. (g)工業専門学校 1903—04. (h)Rauck 1994, pp. 221—222.

4. リーザ (Riesa)

- (1) 溝口 直亮 (MIZOGUCHI, Naosuke [Naoyoshi]) (a)東京 1878—1951. (b)陸軍. (c)陸軍大 1908. (d)大尉. (e)少将. (f)陸軍省 1910—13. (g)受け入れ機関不明 1911—12. (h)Rauck 1994, p. 247; 日本人名 (7), pp. 744—745; 日本軍 1971, p. 71 ((c), (d)); 手塚 1992(2), pp. 366—367; 華族 1996(2), p. 683.

5. グリマ (Grimma)

- (1) 今村 英裕 (IMAMURA, Eisuke [Hidesuke]) (a)東京 1880—1918年以後. (b)経済学. (c)? . (d)? . (e)(合資) 今村銀行・社員. (f)経費不明 1901—07(?). (g)受け入れ機関不明 1901—03. (h)Rauck 1994, p. 128; 人事興信録 5, イ, p. 159 ((a)).
- (2) 隈部 末熊 (KUMABE, Sueguma) (a)東京 1870—19??. (b)陸軍. (c)陸軍士官学校 1890. (d)大尉. (e)大佐. (f)陸軍省 1899—1902. (g)受け入れ機関不明 1900. (h)Rauck 1994, p. 208; 日本軍 1971, p. 359 ((c)).

6. ツィッタウ (Zittau)

- (1) 飯野 知次 (IINO, Tomotsugu) (a)茨城 1876—1931年以後. (b)工学. (c)工業教員養成所 1899. (d)群馬県染織学校・教諭. (e)東京; 桐生高等工業・教授. (f)文部省 1913—16. (g)受け入れ機関不明 1913. (h)Rauck 1994, p. 121; 人事興信録 9, イ, p. 105 ((a), (e)); 渡辺 1978, p. 1181 ((c), (d)).
- (2) 山中 又三郎 (YAMANAKA, Matasaburou) (a)愛知 18?—1912. (b)工学. (c)? . (d)名古屋高等工業・助教授. (e)名古屋高等工業・教授. (f)文部省 1906—10. (g)機械製作工場・実習 1908—09. (h)Rauck 1994, p. 458; 明治過去帳 1971, p. 1254; 渡辺 1978, p. 1014 ((d), (e)).

7. バウツェン (Bautzen)

- (1) 藤江 永孝 (FUZIE, Eikou [Nagataka]) (a)石川 18?—1915. (b)工学. (c)東京職工学校 1889. (d)京都市陶磁試験場・場長. (e)京都市陶磁試験場・場長. (f)経費不明 1899—190?. (g)受け入れ機関不明 1901. (h)Rauck 1994, p. 65; 日本人名 (5), p. 330.
- (2) 山本 悌二郎 (YAMAMOTO, Teizirou) (a)新潟 1870—1937. (b)法学. (c)独協・中退. (d)学生. (e)二高・教授; 台湾製糖(株)重役; 農林大臣. (f)宮内省 1886—94. (g)農学校? 1887—88. (h)Rauck 1994, p. 457; 日本人名 (6), p. 404; 独協 1933(b), p. 25 ((c)); 秦 1981, p. 250; 手塚 1992(2), p. 460.

8. ケムニッツ (Chemnitz)

- (1) 飯野 知次 (IINO, Tomotsugu) (a)受け入れ機関不明 1913. — 6. ツィッタウ(1)飯野 知次 (IINO, Tomotsugu) を見よ.
- (2) 泉谷 氏一 (IZUMIYA, Teiichi) (a)出身地不明 18??—1918年以後. (b)工学. (c)? . (d)通信省・技師. (e)三越・写真部主任. (f)経費不明 1900—05, 1912. (g)受け入れ機関不明 1901—04. (h)Rauck 1994, p. 153; (株)三越・回答 ((a), (e)).
- (3) たかせ きよし (TAKASE, Kiyoshi) (a)東京 18??—19??. (b)芸術. (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費・期間不明 (1914年以前). (g)受け入れ機関・期間不明. (h)Rauck 1994, p. 391.
- (4) たかはし まさいち (TAKAHASHI, Masaichi) (a)東京 1888—19??. (b)芸術. (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費・期間不明 (1914年以前). (g)受け入れ機関・期間不明. (h)Rauck 1994, p. 387.
- (5) 高橋 竜太郎 (TAKAHASHI, Ryuutarou) (a)愛媛 1875—1967. (b)農学. (c)三高 1898. (d)大阪麦酒株式会社. (e)大阪麦酒・社長; 通産大臣. (f)私費 1898—1905; 経費不明 1908. (g)受け入れ機関不明 1899—1900 (?). (h)Rauck 1994, pp. 387—388; 日本人名 (7), p. 449 ((c), (d), (e)); 手塚 1992(2), p. 20.
- (6) 谷江 長 (TANIE, Takeshi) (a)福井 1874—1943年以後. (b)工学. (c)東京高等工業 1895. (d)? . (e)今津紡毛(株)重役. (f)企業 1902—05. (g)実習(受け入れ機関不明) 1903. (h)Rauck 1994, p. 406; 人事興信録 14, タ, p. 232 ((e)).
- (7) 中尾 のぶじ (NAKAO, Nobudji) (a)Kokuca-Kenshidzoker (?), 後の届出では Nokuma (?) 1854—1??. (b)? . (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 187?—187?. (g)機械製造見習(受け入れ機関不明) 1875—77. (h)上村 1984, pp. 74—75; ケムニッツ市立文書館回答(名のローマ字, (a), (g). なお, 届出の際の国籍は日本ではなく, 中国であった).
- (8) ひらもと しんぞう (HIRAMOTO, Shinzou) (a)京都 18??—19??. (b)芸術. (c)? . (d)? . (e)芸術家. (f)経費不明 1914—17. (g)受け入れ機関不明 1914—17. (h)Rauck 1994, p. 105.

9. ターラント (Tharandt)

① 林業大学

- (1) 伊藤 門次 (ITOU, Monzi) (a)兵庫 1883—1932年以後. (b)農学. (c)東大・農 1907. (d)長野県立山林学校・教諭. (e)盛岡高等農林・教授. (f)私費 1911—15. (g)1911—13. (h)Rauck 1994, p. 147; 帝国大学 1932, イ, p. 43 ((e)); 手塚 1992(1), pp. 108—109 ((d)).
- (2) 稲垣 乙丙 (INAGAKI, Otohei) (a)長野 1863—1928. (b)農学. (c)東大・農 1894. (d)東京高師・教授. (e)東大・農・教授. (f)文部省 1900—1903. (g)1901. (h)Rauck 1994, p. 130; 帝国大学 1922, p. 177 ((e)); 渡辺 1978, p. 803; 手塚 1992(1), p. 110.
- (3) 上村 勝爾 (UEMURA, Katsuzi) (a)石川 1876—1948. (c)農学. (c)東大・農

1901. (d)盛岡高等農林・教授. (e)盛岡高等農林・校長. (f)文部省 1914—16. (g)1914. (h)Rauck 1994, p. 432; 帝国大学 1932, ウ, p. 16; 岩手大学農学部回答 ((a)).
- (4) 植村 恒三郎 (UEMURA, Tsunesaburo) (a)福島 1882—1945. (b)農学. (c)東大・農 1906. (d)盛岡高等農林・教授. (e)九大・農・教授. (f)文部省 1912—14. (g)1912. (h)Rauck 1994, p. 432; 帝国大学 1932, ウ, p. 22 ((e)); 渡辺 1978, p. 1141; 手塚 1992(1), p. 151.
- (5) 志賀 泰山 (SHIGA, Taizan) (a)愛媛 1854—1934. (b)農学. (c)? . (d)東京高師・講師. (e)東大・農・教授. (f)農商務省 1885—88; 経費不明 1900. (g)1885—87. (h)Rauck 1994, p. 357; 日本人名 (3), pp. 219—220; 手塚 1992(1), p. 442.
- (6) 杉本 五十鈴 (SUGIMOTO, Isuzu) (a)東京 1876—1951. (b)工学. (c)東大・工 1901. (d)農商務省・技師 (?). (e)古河電気株重役. (f)その他の政府機関 1908—10 (?). (g)1909—10. (h)Rauck 1994, p. 372; 帝国大学 1932, ス, pp. 23—24; 昭和物故 1983, p. 265 ((a), (e)); 佐々木 1985, 第2表 ((g)).
- (7) 鍋島 直縄 (NABESHIMA, Naotada) (a)東京 1889—1939. (b)農学. (c)東京外語 1911. (d)? . (e)農林省・官吏; 内務政務次官. (f)経費不明 1911 (?) — 14. (g)1912—14. (h)Rauck 1994, p. 260; 日本人名 (7), p. 577 ((a), (e)); 華族 1996(2), p. 273.
- (8) 野村 三十郎 (NOMURA, Sanzyuurou) (a)山口 1866—1915年以後. (b)農学. (c)東京外語 1885. (d)学生. (e)栃木県・技師. (f)経費不明 1886—90; 1910. (g)1886—89. (h)Rauck 1994, p. 290; 人事興信録 4, ノ, p. 11 ((a), (c), (d), (f)).
- (9) 本多 静六 (HONDA, Seiroku) (a)埼玉 1866—1952. (b)農学. (c)東大・農 1890. (d)学生. (e)東大・農・教授. (f)私費 1890—92; 経費不明 1907. (g)1890. (h)Rauck 1994, p. 112; 日本人名 (7), p. 70; 渡辺 1978, p. 608; 秦 1981, p. 209 ((a), (c)); 富田 1985, p. 526; 手塚 1992(2), p. 311.
- (10) 松本 脩 (MATSUMOTO, Osamu) (a)奈良 1878—1944. (b)農学 (?). (c)東大・法 1904. (d)大蔵省・官吏. (e)大蔵省・局長; 北海道拓植銀行・頭取. (f)農商務省 1885—188?. (g)1885—88. (h)Rauck 1994, p. 229; 人事興信録 12, マ, pp. 128—129 ((d), (e)); 手塚 1992(2), p. 348; 拓銀・回答 ((a)).
- (11) やまぐち れんいちろう (YAMAGUCHI, Ren-ichirou) (a)出身地不明 1???—19??. (b)農学. (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 19??—19??. (g)1919年と39年の間. (h)ドレスデン工大回答.

②受け入れ機関不明

- (1) 山県 辰吉 (有道) (YAMAGATA, Tatsukichi [Arimichi]) (a)東京 1888—1927. (b)農学 (?). (c)? . (d)? . (e)宮内省・侍従. (f)経費不明 1912 (?) — 14. (g)機関不明 1913. (h)Rauck 1994, p. 452; 華族 1996(2), p. 777.

10. フライベルク

①鉱業大学

- (1) 阿部 正義 (ABE, Masayoshi) (a)福井 1860—1909. (b)工学. (c)工部大学校 1884. (d)一. (e)京大・理工・教授; 明治製煉(株)社長. (f)私費 1885—89; 文部省 1896—98. (g)1885—87; 1897—98. (h)Rauck 1994, p. 41; 日本人名 (1), p. 110; 渡辺 1977, p. 533; 渡辺 1978, p. 704 ((c), (d), (e), (f)); 佐々木 1985, 第2表 ((g)); 富田 1985, p. 62; 手塚 1992(1), p. 44; 木本 1993, p. 39.
- (2) 安東 清人 (ANDOU, Kiyoto) (a)熊本 1854—1886. (b)工学. (c)開成学校・在学中. (d)学生. (e)文部少書記官. (f)文部省 1875—77. (g)1875—77. (h)Rauck 1994, p. 47; 上村 1984, pp. 67, 72—80 ((d), (e)); 富田 1985, pp. 71—72; 佐々木 1985, p. 30; 手塚 1992(1), p. 55; 木本 1993, pp. 34, 38.
- (3) 石田 八弥 (ISHIDA, Hachiya) (a)秋田 1863—1925. (b)工学. (c)東大・工 1887. (d)三菱・社員. (e)東大・工・教授; 三菱合資・重役. (f)私費 1888—91. (g)1889—91. (h)Rauck 1994, p. 137; 日本人名 (1), p. 234; 人事興信録 4, イ, p. 145 ((d), (e)); 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 81; 華族 1996(1), p. 124.
- (4) 井上 匡四郎 (INOUE, Tadashirou) (g)1902—04. — 1. ザクセン(1)井上 匡四郎 (INOUE, Tadashirou) を見よ.
- (6a) 今井 巖 (IMAI, Gen) — 10. フライベルク①(6)岩佐 (旧姓今井) 巖 (IWASA [IMAI], Gen) を見よ.
- (5) 今泉 嘉一郎 (IMAIZUMI, Kaichirou) (a)群馬 1867—1941. (b)工学. (c)東大・工 1892. (d)農商務省・技師. (e)八幡製鉄所・部長; 日本鋼管(株)重役. (f)農商務省 1894—96; 経費不明 1912—13. (g)1894. (h)Rauck 1994, p. 127; 日本人名(7), p. 91; 佐々木 1985, p. 35; 渡辺 1978, pp. 646, 826; 富田 1985, p. 109; 手塚 1992(1), p. 130.
- (6) 岩佐 (旧姓 今井) 巖 (IWASA [IMAI], Gen) (a)福井 18??—1899. (b)理学. (c)大学東校. (d)学生. (e)東大・理・教授; 住友別子銅山・技師. (f)文部省 1870—77. (g)1873—77. (h)Rauck 1994, p. 126; 渡辺 1977, p. 428; 上村 1984, pp. 74—75 ((g)); 佐々木 1985, p. 27; 富田 1985, p. 116; 手塚 1992(1), p. 129; 木本 1993, pp. 38, 44; 森川 1994, p. 71.
- (7) 巖谷 立太郎 (IWAYA, Ryuutarou) (a)滋賀 1857—1891. (b)工学. (c)開成学校中退 1877. (d)学生. (e)東大・工・教授. (f)私費 1877—81. (g)1877—81. (h)Rauck 1994, p. 153; 日本人名 (1), p. 400; 渡辺 1977, pp. 407—408; 富田 1985, pp. 120—121; 佐々木 1985, p. 30; 手塚 1992(1), p. 145; 木本 1993, pp. 39, 53.
- (8) 内田 清太郎 (UCHIDA, Seitarou) (a)秋田 1864—1928. (b)工学. (c)東大・工 1888. (d)秋田県・尾去沢鉱山・技師. (e)尾去沢鉱山・技師. (f)経費不明 1894—189?. (g)1894—96 (?). (h)Rauck 1994, p. 429; 帝国大学 1922, p. 237 ((d), (e)); 佐々木 1985, 第2表 ((c)).

- (9) 大島 専次郎 (OOSHIMA, Senzirou) (a)岩手 1864—1902. (b)工学. (c)慶応義塾 1883 (?). (d)官営小坂鉱山・勤務. (e)細倉鉱山(株)社長(1898年まで). (f)私費 1889—1892. (g)1889—92. (h)Rauck 1994, p. 320; 佐々木 1985, p. 26, 第2表; 本田 1991(b), pp. 23—26 ((a), (c), (d), (e), (f)).
- (10) 大島 道太郎 (OOSHIMA, Michitarou) (a)岩手 1860—1921. (b)工学. (c)東大・理 1877. (d)学生. (e)八幡製鉄所・技監; 東大・工・教授. (f)私費 1877—82; 経費不明 1895—189?; 経費不明 1900—04. (g)1878—81. (h)Rauck 1994, p. 320; 日本人名 (1), p. 553; 渡辺 1977, p. 407; 渡辺 1978, p. 826; 佐々木 1985, p. 30; 富田 1985, p. 147; 手塚 1992(1), p. 183; 木本 1993, p. 39.
- (11) 大橋 多吉 (OOHASHI, Takichi) (a)鹿児島 1879—1956年頃. (b)工学. (c)東大・工 1903. (d)熊本高等工業・教授. (e)商工省鉱山課長; 新日工業(株)重役. (f)文部省 1906—09. (g)1906—07 (?). (h)Rauck 1994, p. 300; 帝国大学 1932, オ, p. 81; 人事興信録 15, オ, p. 41 ((e)); 渡辺 1978, pp. 1012—1013; 手塚 1992(1), p. 194; 鉱業会 1955, p. 25; 鉱業会 1958, p. 30 ((a)).
- (12) 大橋 備治 (OOHASHI, Tomoharu) (a)福井 1891—1959年頃. (b)工学. (c)京大・工 1920. (d)秋田鉱専・教授. (e)秋田大・鉱山学部・教授. (f)経費不明 1932—3?. (g)1932—33. (h)フライベルク鉱業大学回答; 京大 1993, p. 1501 ((c)); 木本 1993, p. 50; 鉱業会 1948, p. 25; 鉱業会 1958, p. 30; 鉱業会 60/61, p. 33 ((a), (e)).
- (13) 岡田 陽一 (OKADA, Youichi) (a)石川 1881—1961年頃. (b)工学. (c)東大・工 1907. (d)? . (e)九大・工・教授. (f)文部省 1909—12. (g)1909—11. (h)Rauck 1994, p. 305; 帝国大学 1932, オ, pp. 112—113; 渡辺 1978, p. 1068; 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 214; 鉱業会 1960/61, p. 36; 鉱業会 1963/64, p. 26 ((a)); 九大工学部回答.
- (14) 小川 清 (OGAWA, Kiyoshi) (a)愛媛 1892—1938. (b)工学. (c)東大・工 1920. (d)明治専門学校・教授. (e)明治専門学校・教授. (f)文部省 1931—33. (g)1932—33. (h)フライベルク鉱業大学回答; 九州工大 1959, p. 345; 九州工大回答 ((a)).
- (15) 加藤 武夫 (KATOU, Takeo) (a)神奈川 1883—1949. (b)理学. (c)東大・理 1907. (d)東大・理・講師. (e)東大・理・教授. (f)私費 1909—11. (g)1910. (h)Rauck 1994, p. 170; 日本人名 (7), pp. 208—209; 佐々木 1985, p. 35; 手塚 1992(1), p. 261.
- (16) 金子 恭輔 (KANEKO, Kyousuke) (a)山口 1882—1966年頃. (b)工学. (c)東大・工 1906. (d)藤田組・技師. (e)九大・工・教授; 海外鉱業協会理事長. (f)文部省 1910—13. (g)1910. (h)Rauck 1994, p. 162; 帝国大学 1922, p. 443; 人事興信録 14, カ, p. 105 ((e)); 渡辺 1978, p. 1100 ((d)); 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 268; 鉱業会 1965/66, p. 32; 鉱業会 1967/68, p. 32 ((a)).
- (17) 神谷 豊太郎 (KAMIYA, Toyotarou) (a)和歌山 1868—1951年以後. (b)理学. (c)東大・理 1893. (d)五高・教授. (e)旅順工科学堂・教授. (f)文部省 1903—05. (g)

- 1903—04. (h)Rauck 1994, p. 159; 帝国大学 1922, p. 463 ((e)); 渡辺 1978, p. 917; 佐々木 1985, 第2表.
- (18) 上山 小二郎 (KAMIYAMA, Kozirou) (a)山口 1872—1???. (b)工学. (c)山口高校?. (d)?. (e)?. (f)経費不明 1894—1???. (g)1894—96 (?). (h)Rauck 1994, p. 159; 佐々木 1985, 第2表.
- (19) 神田 礼治 (KANDA, Reizi) (a)岐阜 1857—1938. (b)工学. (c)工部大学校 1882. (d)工部省・技師. (e)共立鉱業(株)重役. (f)私費 1893—95; 企業 1909—10. (g)1893—94 (?). (h)Rauck 1994, p. 161; 帝国大学 1932, カ, p. 70 ((e)); 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 301 ((d)).
- (20) きた きんたろう (KITA, Kintarou) (a)出身地不明 18??—19??. (b)工学. (c)?. (d)?. (e)?. (f)経費不明 1908—?. (g)鉱業大学? 1908. (h)Rauck 1994, p. 188.
- (21) 北山 一太郎 (KITAYAMA, Ichitarou) (a)福岡 1872—1923. (b)工学. (c)東京高等工業 1892. (d)?. (e)日本勧業銀行・幹部. (f)文部省 1895—98. (g)1895—96, 1897. (h)Rauck 1994, p. 190; 渡辺 1978, p. 659; 佐々木 1985, 第2表 ((g)); 富田 1985, p. 224; 第一勧業銀行回答 ((a), (e)).
- (22) 木本 忠昭 (KIMOTO, Tadaaki) (a)山口 1943—. (b)工学. (c)九州工大 1967. (d)芝浦工大・助手. (e)東京工大・社会理工学研究科・教授. (f)ドイツ民主共和国 1975—76, 1978—79. (g)1975—76, 1978—79. (h)大沢メモ; 大学職員録 1996(1), p. 350; 本人回答.
- (23) 栗本 廉 (KURIMOTO, Tadashi) (a)東京 1858—1892. (b)工学. (c)工部大学校 1879. (d)学生. (e)宮内省御料局・技師. (f)工部省 1880—83. (g)1882—83. (h)Rauck 1994, p. 211; 佐々木 1985, p. 32; 富田 1985, p. 241 ((e)); 手塚 1992(1), p. 346; 木本 1993, pp. 39, 51.
- (24) 小池 佐太郎 (KOIKE, Satarou) (a)長野 1882—1940. (b)工学. (c)東大・工 1905. (d)早稲田大学留学生. (e)早稲田大・理工・教授; 藤田鉱業技師. (f)早稲田大学 1906—10. (g)1907—08. (h)Rauck 1994, p. 198; 帝国大学 1922, p. 589; 渡辺 1978, p. 903; 早稲田大学 1981, pp. 337, 708, 1191 ((d), (e), (f)); 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 359.
- (25) 後藤 正治 (GOTOU, Shouzi) (a)静岡 1877—1938. (b)工学. (c)東大・工 1903. (d)大阪高等工業・教授. (e)東大・工・教授. (f)文部省 1908—11. (g)1908—09 (?). (h)Rauck 1994, p. 80; 人事興信録 10, コ, p. 88; 渡辺 1978, pp. 1034—1035; 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(1), p. 376; 木本 1993, p. 40.
- (26) 斎藤 大吉 (SAITOU, Daikichi) (a)岡山県大福村(現 岡山市大福) 1872—1949. (b)工学. (c)岡山県尋常中学校(現 県立岡山朝日高校) 1892; 東大・工 1898. (d)京大・理工・助教授. (e)京大・工・教授. (f)文部省 1902—05; 経費不明 1919—20. (g)1902—03. (h)Rauck 1994, p. 330; 日本人名(7), p. 340; 帝国大学 1932, サ, p. 48; 人事興信録 15, サ, p. 23; 渡辺 1978, p. 860; 福田村 1983, pp. 356—357; 佐々木 1985, p. 34; 手塚 1992(1), p. 398.

- (27) 佐川 栄次郎 (SAGAWA, Eizirou) (a)徳島 1873—1941. (b)理学. (c)東大・理 1898. (d)東大・工・助教授. (e)東北大・理・教授；三井鉱山(株)幹部. (f)文部省 1908—11. (g)1909—10. (h)Rauck 1994, p. 328；日本人名 (7), p. 352；渡辺 1978, p. 1065 ((d), (e))；佐々木 1985, p. 35；手塚 1992(1), p. 411.
- (28) 末広 忠介 (SUEHIRO, Chuusuke) (a)山口 1871—1938. (b)工学. (c)東大・工 1897. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授. (f)文部省 1903—06；経費不明 1922—23. (g)1903. (h)Rauck 1994, p. 370；渡辺 1978, p. 890；佐々木 1985, 第2表；手塚 1992(1), p. 473；木本 1993, p. 40.
- (29) 杉本 五十鈴 (SUGIMOTO, Isuzu) (g)1909—10. — 9. ターラント①(6)杉本 五十鈴 (SUGIMOTO, Isuzu) を見よ.
- (30) 春原 隈次郎 (SUNOHARA, Kumazirou) (a)東京 1856—1927. (b)工学. (c)工部大学校. (d)工部省・官吏. (e)藤田組・幹部？. (f)工部省 1885—88. (g)1885—87 (?). (h)Rauck 1994, p. 375；佐々木 1985, 第2表 ((g))；手塚 1992(1), pp. 491-492 ((d)).
- (31) 俵 国一 (TAWARA, Kuniichi) (a)島根 1872—1958. (b)工学. (c)東大・工 1897. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授. (f)文部省 1899—1902. (g)1899—1901. (h)Rauck 1994, pp. 381-382；日本人名 (7), p. 492；帝国大学 1932, タ, p. 117 ((e))；渡辺 1978, p. 762；佐々木 1985, p. 34, 第2表 ((g))；手塚 1992(2), pp. 67-68；木本 1993, p. 40.
- (32) 土居川 佐一郎 (DOIKAWA, Saichirou) (a)広島 1873—19??. (b)工学. (c)東京高等工業 1895. (d)? . (e)? . (f)経費不明 1901—190?. (g)鉱業大学？ 1901—03. (h)Rauck 1994, p. 62；東京工大回答.
- (33) 中川 維則 (NAKAGAWA, Korenori) (a)神奈川 1881—1945年頃. (b)工学. (c)東大・工 1904. (d)農商務省・技師. (e)明治専門学校・校長；海外鉱業協会仏印鉱業研究所・所長. (f)私費 1908—10. (g)1908—09. (h)Rauck 1994, p. 268；帝国大学 1932, ナ, p. 11；佐々木 1985, p. 34；手塚 1992(2), p. 129-130；鉱業会 1943, p. 132；鉱業会 1948, p. 86 ((a), (e)).
- (34) 西尾 銈次郎 (NISHIO, Keizirou) (a)静岡 1871—1964年頃. (b)工学. (c)東大・工 1898. (d)農商務省・技師. (e)初倉組・創立者. (f)経費不明 1913 (?) — 14 (?). (g)1913；鉱業大学？ 1914. (h)Rauck 1994, p. 286；帝国大学 1932, ニ, p. 10 ((d), (e))；鉱業会 1963/64, p. 91；鉱業会 1965/66, p. 90 ((a)).
- (35) 野呂 景義 (NORO, Kageyoshi) (a)愛知 1858—1923. (b)工学. (c)東大・理 1882. (d)東大・理・助教授. (e)東大・工・教授. (f)私費 1885—89；経費不明 1898. (g)1886—88. (h)Rauck 1994, p. 291；日本人名 (5), p. 89；渡辺 1977, p. 533；渡辺 1978, pp. 599, 828 ((e))；佐々木 1985, p. 33 ((d))；富田 1985, p. 465；手塚 1992(2), pp. 196-197；木本 1993, p. 39.
- (36) 長谷川 芳之助 (HASEGAWA, Yoshinosuke) (a)佐賀 1855—1912. (b)工学. (c)開成学校 1875. (d)学生. (e)三菱会社・技師長. (f)文部省 1875—80. (g)1879—80. (h)Rauck 1994, p. 89；渡辺 1977, p. 366 ((e))；佐々木 1985, p. 31；手塚

- 1992(2), p. 207; 木本 1993, p. 39.
- (37) 原田 豊吉 (HARADA, Toyokichi) (a)東京 1860—1894 (もと岡山鴨方藩士, 陸軍少将・男爵原田一道の長男). (b)理学. (c)東京外語. (d)学生. (e)東大・理・教授; 農商務省地質局・次長. (f)私費 1874—83; 農商務省 1891—94. (g)1877—80. (h)Rauck 1994, p. 87; 渡辺 1977, pp. 338—339; 佐々木 1985, p. 30; 富田 1985, pp. 487—488 ((e)); 手塚 1992(2), p. 239; 木本 1993, pp. 38—39, 53; 華族 1996(2), p. 383.
- (38) 日置 雅章 (HIOKI, Masaaki) (a)京都 1880—1954. (b)工学. (c)東大・工 1904. (d)九州炭鉱(株)技師. (e)秋田鉱専・教授; 日置鉱山・経営者. (f)文部省 1909—12. (g)1909—10. (h)Rauck 1994, p. 104; 帝国大学 1932, Ⅱ, p. 1; 渡辺 1978, p. 1069 ((d)); 手塚 1992(2), p. 244.
- (39) 福島 儀太次 (FUKUSHIMA, Gitazi) (a)高知 1888—1939年頃. (b)工学. (c)京大・工 1913. (d)京大・工・教授. (e)京城高等工業・教授. (f)経費・期間不明. (g)1935. (h)フライベルク鉱業大学回答; 京大 1993, p. 1829 ((c)); 鉱業会 1939, p. 233; 鉱業会 1940, p. 260 ((a), (e)).
- (40) 的場 中 (MATOBA, Naka) (a)三重 1856—1933. (b)工学. (c)工部大学校 1882. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授; 明治専門学校・校長. (f)文部省 1889—93. (g)1890—93. (h)Rauck 1994, p. 224; 帝国大学 1932, Ⅲ, p. 73; 渡辺 1978, p. 584; 佐々木 1985, p. 33; 富田 1985, p. 552 ((c), (d), (e)); 手塚 1992(2), p. 353; 木本 1993, pp. 36, 39, 45, 47.
- (41) 向井 哲吉 (MUKAI, Tetsukichi) (a)宮城 1864—1944. (b)工学 (海軍). (c) ? . (d)海軍省・技師. (e)八幡製鉄所・技師. (f)海軍省 1884—86, 1888—92; 経費不明 1913. (g)1887 (?)—91. (h)Rauck 1994, p. 255; 渡辺 1978, p. 601 ((d)); 富田 1985, pp. 569—570; 佐々木 1985, 第2表; 手塚 1992(2), p. 389; 木本 1993, p. 39.
- (42) 山田 邦彦 (YAMADA, Kunihiko) (a)福岡 1871—1925. (b)工学. (c)東大・工 1896. (d)学生. (e)京大・理工・教授. (f)文部省 1897—99. (g)1897—99. (h)Rauck 1994, p. 450; 日本人名 (6), p. 357; 帝国大学 1922, p. 1607; 渡辺 1978, pp. 719, 921; 佐々木 1985, p. 34; 手塚 1992(2), pp. 447—448.
- (43) 山田 直矢 (YAMADA, Naoya) (a)鹿児島 1860—1939. (b)工学. (c)東大・工 1885. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授; 石狩石炭礦社長. (f)経費不明 1887 (?)—89 (?). (g)1887—89. (h)Rauck 1994, p. 450; 日本人名 (7), p. 810; 佐々木 1985, 第2表; 木本 1993, p. 39.
- (44) 山田 又三郎 (文太郎) (YAMADA, Matasaburou [Buntarou]) (a)福井 1861—1932. (b)工学. (c)東大・工 1886. (d)小真木鉱山・技師. (e)三井神岡鉱山・重役. (f)私費 1889—91. (g)1889—91. (h)Rauck 1994, p. 448; 渡辺 1978, pp. 595—596; 富田 1985, p. 611 ((a), (e). 文太郎は別名); 手塚 1992(2), p. 451.
- (45) 横堀 治三郎 (YOKOBORI, Zisaburou) (a)千葉 1871—1938. (b)工学. (c)東

- 大・工 1894. (d)東大・工・助教授. (e)京大・理工・教授; 秋田敏専・校長. (f)文部省 1897—99; 経費不明 1912—13. (g)1897—98. (h)Rauck 1994, p. 466; 渡辺 1978, p. 719; 佐々木 1985, 第2表 ((e), (g)); 手塚 1992(2), p. 473 ((d)); 木本 1993, pp. 40, 45, 50.
- (46) 渡辺 芳太郎 (WATANABE, Yoshitarou) (a)愛知 1865—1923. (b)工学. (c)東大・工 1887. (d)三菱吉岡鉱山・副支配人. (e)東大: 九大・工・教授. (f)文部省 1894—97. (g)1894—97. (h)Rauck 1994, p. 446; 日本人名 (6), p. 570; 渡辺 1978, p. 640 ((d)); 富田 1985, p. 639; 佐々木 1985, 第2表 ((g)); 手塚 1992(2), p. 506; 木本 1993, p. 40.
- (47) 渡辺 渡 (WATANABE, Wataru) (a)長崎 1857—1919. (b)工学. (c)東大・理 1879. (d)東大・理・助教授. (e)東大・工・教授. (f)文部省 1882—85; 経費不明 1901 (?). (g)1882—85. (h)Rauck 1994, p. 446; 日本人名 (6), p. 571; 富田 1985, pp. 639—640; 佐々木 1985, p. 33 ((d)); 手塚 1992(2), p. 507; 木本 1993, p. 39.

②受け入れ機関不明, その他

- (1) 大沢 亨 (OOSAWA, Tooru) (a)東京 1872—1943年以後. (b)工学. (c)? . (d)? . (e)日本皮革 (株) 重役. (f)経費不明 1899 (?) —1901. (g)機関不明 1899—1901. (h)Rauck 1994, p. 319; 人事興信録 14, オ, p. 98 ((a), (e)).
- (2) 小花 冬吉 (OBANA, Fuyukichi) (a)東京 1856—1934. (b)工学. (c)東大・工 1879. (d)学生. (e)東大・工・教授; 秋田敏専・校長. (f)文部省 (?) 1879—83; 経費不明 1887—88; 広島県 1893; 経費不明 1896—97. (g)機関不明 1882 (鉱業大学の学生でも聴講生でもない). (h)Rauck 1994, S. 293; 富田 1985, pp. 181—182; 木本 1993, pp. 36, 45, 47—51; フライベルク鉱業大学回答 ((g)).
- (3) ごとう ひこしち (GOTOU, Hikoshichi) (a)出身地不明 18??—19??. (b)? . (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 1902 (?) —? . (g)機関不明 1902—04. (h)Rauck 1994, pp. 79—80.
- (4) さわたり ひでみつ (SAWATARI, Hidemitsu) (a)出身地不明 18??—19??. (b)工学. (c)? . (d)東洋製皮・技師. (e)? . (f)経費不明 1899—1900; 1906—07. (g)商用 1899—1900. (h)Rauck 1994, p. 350.
- (5) 島村 金治郎 (SHIMAMURA, Kinziro) (a)新潟 1867—1945年頃. (b)工学. (c)東大・工 1894. (d)三菱合資・社員. (e)北樺太石油 (株) 重役. (f)経費不明 1900. (g)機関不明 1900. (h)Rauck 1994, p. 359; 帝国大学 1932, シ, pp. 38—39; 人事興信録 14, シ, p. 65 ((d), (e)); 鉱業会 1943, p. 100; 鉱業会 1948, p. 60 ((a)).
- (6) 西村 謙吉 (NISHIMURA, Kenkichi) (a)千葉 18??—1905. (b)工学. (c)東京職工学校・中退. (d)企業・職員. (e)桜組製革工場・副支配人. (f)私費 1887—94; 1898—99. (g)革鞆学校 18??—18??. (h)Rauck 1994, p. 285; 手塚 1992(2), p. 176 ((c), (d), (e), (f)).

- (7) 横井 実郎 (YOKOI, Zitsurou) (a)徳島 1869—1930年以後. (b)工学. (c)東大・工 1896. (d)鉄道局・技師. (e)満鉄・幹部. (f)経費不明 1898—?. (g)機関不明 1898 (?). (h)Rauck 1994, pp. 466-467; 帝国大学 1922, p. 1639; 人事興信録 4, ヨ, p. 8 ((d)).

11. ドレースデン

①ザクセン軍団

- (1) 秋山 練造 (AKIYAMA, Renzou) (a)東京 1872—1942. (b)医学 (陸軍). (c)東大・医 1900. (d)軍医. (e)陸軍軍医学校・校長. (f)その他の政府機関 1911 (?)—191?. (g)受け入れ機関不明 1911. (h)Rauck 1994, p. 45; 日本人名 (7), p. 10.
- (2) 浅川 敏靖 (ASAKAWA, Toshiyasu [Toshinobu]) (a)山梨 1860—1933. (b)陸軍. (c)陸軍士官学校 1886. (d)中尉. (e)中將. (f)陸軍省 1889—92. (g)1891—189?. (h)Rauck 1994, p. 55; 日本人名 (1), p. 51; 外山 1981, p. 74; 富田 1985, pp. 58-59; 手塚 1992(1), p. 31.
- (3) 梅津 美次郎 (UMEDU, Yoshizirou) (a)大分 1882—1949. (b)陸軍. (c)陸軍大 1911. (d)大尉. (e)大將・参謀総長. (f)陸軍省 1913—14. (g)受け入れ機関不明 1913. (h)Rauck 1994, p. 436; 日本人名 (7), p. 119; 日本軍 1971, pp. 14-15 ((e), (f)).
- (4) 大井 成元 (菊太郎) (OOI, Shigemoto [Kikutarou]) (a)山口 1863—1951. (b)陸軍. (c)陸軍大 1888. (d)中尉. (e)大將. (f)陸軍省 1890—95, 1902—06. (g)1891—92. (h)Rauck 1994, pp. 300-301; 日本人名 (7), p. 131; 日本軍 1971, p. 17; 渡辺 1978, p. 593; 富田 1985, p. 136; 華族 1996(1), p. 264.
- (5) 大村 有隣 (OOMURA, Arichika) (a)愛知 1878—1939年以後. (b)陸軍. (c)陸軍大 1909. (d)少佐. (e)中將. (f)陸軍省 1910—14?, 1927—29. (g)受け入れ機関不明 1913—14. (h)Rauck 1994, p. 313; 人事興信録 12, オ, p. 161 ((a)); 日本軍 1971, p. 280 ((c), (f)).
- (6) おの ごろう (ONO, Gorou) (a)出身地不明 18??—19??. (b)陸軍. (c)?, (d)大尉. (e)?, (f)経費不明 1908—10. (g)受け入れ機関不明 1908—10. (h)Rauck 1994, p. 314.
- (7) 兼松 習吉 (KANEMATSU, Shuukichi) (a)滋賀 1874—19??. (b)陸軍. (c)陸軍砲工学校高等科 1899. (d)中尉. (e)少將. (f)陸軍省 1900—03. (g)受け入れ機関不明 1901. (h)Rauck 1994, p. 162; 日本軍 1971, p. 370 ((c)); 手塚 1992(1), pp. 269—270.
- (8) 川崎 良三郎 (KAWASAKI, Ryouzaburou) (a)広島 1874—1925. (b)陸軍. (c)陸軍大 1901. (d)少佐. (e)少佐; 欧亜貿易 (株) 社長. (f)陸軍省 1908—11. (g)受け入れ機関不明 1909—10, 1911. (h)Rauck 1994, p. 178; 日本人名 (2), p. 207; 人事興信録 4, カ, p. 49 ((e)); 日本軍 1971, p. 276 ((e)); 手塚 1992(1), p. 287.
- (9) 河村 (川村) 宗五郎 (KAWAMURA, Sougorou) (a)鹿児島 1858—1916. (b)

- 陸軍. (c)陸軍士官学校 1879. (d)中尉. (e)中將. (f)陸軍省 1889—93. (g)1891—92. (h)Rauck 1994, p. 178; 外山 1981, p. 60; 富田 1985, p. 215 ((c), (d), (f)).
- (10) 木越 安綱 (KIGOSHI, Yasutsuna) (a)石川 1854—1932. (b)陸軍. (c)陸軍士官学校 1877. (d)中尉. (e)中將・陸軍大臣. (f)陸軍省 1882—86. (g)1885. (h)Rauck 1994, p. 181; 日本人名 (2), p. 271; 日本軍 1971, p. 25 ((d), (e), (f)); 手塚 1992(1), p. 306; 華族 1996(1), p. 484.
- (11) 隈部 末熊 (KUMABE, Sueguma) (g)受け入れ機関不明 1899—1900. ——— 5. グリマ(2)隈部 末熊 (KUMABE, Sueguma) を見よ.
- (12) 斎藤 常三郎 (SAITOU, Tsunesaburo) (a)愛知 1871—1921. (b)陸軍. (c)陸軍大 1901. (d)少佐. (e)少將. (f)陸軍省 1906—09. (g)受け入れ機関不明 1908—09. (h)Rauck 1994, p. 333; 日本軍 1871, p. 276 ((c)); 手塚 1992(1), p. 399.
- (13) 鈴木 徳次郎 (SUZUKI, Tokuzirou) (a)三重 1872—19??. (b)医学 (陸軍). (c)大阪府立医学校 1895. (d)軍医. (e)??. (f)経費不明 1902—04. (g)受け入れ機関不明 1903. (h)Rauck 1994, p. 379.
- (14) 首藤 多喜馬 (SUTOU, Takima) (a)東京 1870—1939年以後. (b)陸軍. (c)陸軍大 1898. (d)中尉. (e)中將. (f)陸軍省 1903—04; 経費不明 1906—08. (g)受け入れ機関不明 1903—04, 1906. (h)Rauck 1994, p. 375; 人事興信録 12, ス, p. 1; 日本軍 1971, p. 274 ((c)).
- (15) 田村 (旧姓 早川) 怡与造 (TAMURA [HAYAKAWA], Iyozou) (a)山梨 1854—1903. (b)陸軍. (c)陸軍士官学校 1878. (d)大尉. (e)中將. (f)陸軍省 1883—88; 1895—97. (g)1885—87; 受け入れ機関不明 1897 (?). (h)Rauck 1994, p. 400 (cf. p. 95 = HAYAKAWA, Shochō); 日本人名 (4), p. 224; 日本軍 1971, p. 43 ((c), (f)); 石井 1974, pp. 258—259; 渡辺 1977, p. 483; 富田 1985, p. 383; 手塚 1992(2), p. 65.
- (15a) 早川 怡与造 (HAYAKAWA, Iyozou) ——— 11. ドレースデン① (15) 田村 (旧姓早川) 怡与造 (TAMURA [HAYAKAWA], Iyozou) を見よ.
- (16) 林 銑十郎 (HAYASHI, Senzyuurou) (a)石川 1876—1943. (b)陸軍. (c)陸軍大 1903. (d)少佐. (e)大將・陸軍大臣; 首相. (f)陸軍省 1913—16; 1923—24. (g)受け入れ機関不明 1914. (h)Rauck 1994, p. 99; 日本人名 (7), p. 632; 日本軍 1971, p. 60 ((c), (e), (f)).
- (17) 福田 雅太郎 (FUKUDA, Masatarou) (a)長崎 1866—1932. (b)陸軍. (c)陸軍大 1893. (d)大尉. (e)大將. (f)陸軍省 1897—1900, 1903—04, 1907—09. (g)受け入れ機関不明 1898. (h)Rauck 1994, p. 71; 日本軍 1971, p. 63; 渡辺 1978, p. 965; 手塚 1992(2), p. 274.
- (18) 藤井 茂太 (FUJII, Shigeta) (a)兵庫 1860—1945. (b)陸軍. (c)陸軍大 1885. (d)大尉. (e)中將. (f)陸軍省 1890—93; 1897—1900. (g)1891—92. (h)Rauck 1994, p. 66; 日本人名 (7), p. 670; 日本軍 1971, p. 63; 渡辺 1978, p. 593; 富田 1985, p. 509.
- (19) 古莊 幹郎 (FURUSHOU, Motoo) (a)熊本 1882—1940. (b)陸軍. (c)陸軍大

1909. (d)大尉. (e)大將. (f)陸軍省 1911—16. (g)受け入れ機関不明 1913. (h) Rauck 1994, pp. 76—77; 日本人名 (7), pp. 685—686; 日本軍 1971, p. 64.
- (20) 前田 利為 (MAEDA, Toshinari) (a)石川 1885—1942. (b)陸軍. (c)陸軍大 1911. (d)中尉. (e)大將. (f)私費 1913—16; 陸軍省 1919—20 (?); 私費 1922—23. (g)受け入れ機関不明 1914. (h)Rauck 1994, p. 218; 日本人名 (7), p. 705; 日本軍 1971, p. 67 ((a), (c), (d), (f)); 華族 1996(2), p. 531.
- (21) 溝口 直亮 (MIZOGUCHI, Naosuke [Naoyoshi]) (g)受け入れ機関不明 1911. — 4. リーザ(1)溝口 直亮 (MIZOGUCHI, Naosuke [Naoyoshi]) を見よ.
- (22) 森 林太郎・鷗外 (MORI, Rintarou [Ougai]) (a)島根 1862—1922. (b)医学 (陸軍). (c)東大・医 1881. (d)軍医. (e)軍医総監; 帝室博物館・総長; 文学者. (f) 陸軍省 1884—88. (g)1885—86. (h)Rauck 1994, p. 250; 日本人名 (6), p. 244; 渡辺 1977, pp. 516—517; 富田 1985, pp. 584—585; 手塚 1992(2), p. 412.
- (23) 山梨 半造 (YAMANASHI, Hanzou) (a)神奈川 1864—1944. (b)陸軍. (c)陸軍大 1892. (d)大尉. (e)大將・陸軍大臣. (f)陸軍省 1898—1902, 1905—08. (g)受け入れ機関不明 1899—1900. (h)Rauck 1994, p. 458; 日本軍 1971, p. 77; 手塚 1992(2), p. 454.
- (24) 吉村 健蔵 (YOSHIMURA, Kenzou) (a)山口 1874—19??. (b)陸軍. (c)陸軍大 1903. (d)少佐. (e)大佐. (f)陸軍省 1910—14. (g)受け入れ機関不明 1911. (h) Rauck 1994, pp. 473—474; 日本軍 1971, p. 277 ((c)).

②工業大学

- (1) 青木 (旧姓 杉) 梅三郎 (AOKI [SUGI], Umesaburou) (a)東京 1873—1941. (b)工学. (c)学習院中等科中退 1892. (d)?. (e)那須野の開発. (f)経費不明 1893—1901 (?). (g)1894—95. (h)Rauck 1994, p. 372; 人事興信録 9, ア, p. 42 ((a), (e)); 華族 1996(1), p. 4; 学習院大学回答 ((c)).
- (2) 井上 仁吉 (INOUE, Zinkichi) (a)京都 1868—1947. (b)工学. (c)東大・工 1896. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授; 東北大・総長. (f)私費 1903—05. (g)1904—05. (h)Rauck 1994, p. 131; 渡辺 1978, p. 920 ((e)); 手塚 1992(1), p. 119; 東北大学事務局回答 ((a)).
- (3) 江守 襄吉郎 (EMORI, Zyoukichirou) (a)大阪 1870—1919. (b)工学. (c)東大・工 1894. (d)東大・工・助教授. (e)東大・工・教授. (f)文部省 1899—1901. (g) 1900—01. (h)Rauck 1994, p. 63; 日本人名 (1), p. 496; 渡辺 1978, p. 786.
- (4) 遠藤 政直 (ENDO, Masanao) (a)岩手 1883—1941. (b)工学. (c)東京高等工業 1904. (d)早稲田大学留学生. (e)横浜高等工業・教授. (f)早稲田大 1908—09. (g) 1908—09. (h)Rauck 1994, p. 64; 渡辺 1978, p. 902; 早稲田大学 1981, pp. 301, 708, 1187 ((d), (f)); 昭和物故 1983, p. 85; 横浜国大工学部回答 ((e)).
- (5) 上山 小二郎 (KAMIYAMA, Kozirou) (g)1894. — 10. フライベルク ① (18) 上山 小二郎 (KAMIYAMA, Kozirou) を見よ.

- (6) 小藤 真治 (KOTOU, Shinzi) (a)島根 1886—1915 (ロンドン). (b)工学. (c)? . (d)九大・工・教授. (e)死亡. (f)文部省 1912—15. (g)1913—14. (h)Rauck 1994, p. 205; 渡辺 1978, p. 1171 ((d), (f)); ドレースデン工大回答 ((g)).
- (1a) 杉 梅三郎 (SUGI, Umesaburou) —10. ドレースデン②(1)青木 (旧姓 杉) 梅三郎 (AOKI [SUGI], Umesaburou) を見よ.
- (7) 杉原 美代太郎 (SUGIHARA, Miyotarou) (a)東京 1880—1943年以後. (b)工学 (陸軍). (c)陸軍砲工学校高等科 1906. (d)大尉. (e)中将; 東京発動機 (株) 重役. (f)経費不明 1908—11. (g)1909—10. (h)Rauck 1994, p. 372; 人事興信録 14, ス, p. 35 ((e)); 日本軍 1971, p. 370 ((c)).
- (8) 堂前 堅三 (DOUMAE, Kenzou) (a)奈良 1883—19?? . (b)工学. (c)京大・工 1908. (d)? . (e)? . (f)経費不明 1911 (?) —13. (g)1912—13. (h)Rauck 1994, p. 62; 京大 1993, p. 1733 (名の漢字, (c)).
- (9) 中沢 良夫 (NAKAZAWA, Yoshio) (a)東京 1883—1966. (b)工学. (c)東大・工 1906. (d)日本舎密製造 (小野田) ・技師. (e)京大・工・教授; 京都工芸繊維大・学長. (f)文部省 1907—11. (g)1908—11. (h)Rauck 1994, p. 279; 日本人名 (7), p. 551; 人事興信録 23, ナ, p. 45; 渡辺 1978, p. 1030 ((d), (e)); 手塚 1992(2), p. 133.
- (10) 中島 卓爾 (NAKASHIMA, Takuzi) (a)福岡 1883—1951. (b)工学. (c)京大・工 1906. (d)旅順工科学堂・教授. (e)旅順工科学堂・教授. (f)経費不明 1912 (?) —13. (g)1912—13. (h)Rauck 1994, pp. 271—272; 帝国大学 1922, p. 1081.
- (11) 成瀬 政男 (NARUSE, Masao) (a)千葉 1898—1979. (b)工学. (c)東北大・工 1923. (d)東北大・工・助教授. (e)東北大・工・教授. (f)経費不明 1936—38. (g)1937—38. (h)成瀬 1941, pp. 194, 212, 388, 413; 朝日・現代人物 1977, pp. 970—971.
- (12) 西村 直 (NISHIMURA, Naoshi) (a)東京 1888—1982. (b)工学. (c)東京高等工業 1909. (d)? . (e)品川白煉瓦 (株) 社長; 日本化学陶業 (株) 会長. (f)経費不明 1913—15. (g)1913—14. (h)Rauck 1994, p. 285; 人事興信録 31, ニ, p. 82; 品川白煉瓦 (株) 回答 ((a), (e)).
- (13) 船水 武五郎 (FUNEMIZU [FUNAMIZU], Takegorou) (a)青森 1870—1957. (b)工学. (c)東京工業学校 1894. (d)東大・工 (?) ・助手 (1896年). (e)群馬製紙 (株) 社長. (f)農商務省 1901—04. (g)1902—03. (h)Rauck 1994, p. 76; 手塚 1992(2), pp. 292—293.
- (14) 間中 綱彦 (MANAKA, Tsunahiko) (a)兵庫 1884—1968年以後. (b)医学. (c)東京薬学校 1902. (d)? . (e)大五栄養化学 (株) 社長. (f)農商務省 1908—11. (g)工業大? 1911. (h)Rauck 1994, p. 221; 人事興信録 24, マ, p. 11 ((a), (c), (e), (f)).
- (15) 参木 録郎 (MITSUKI, Rokurou) (a)栃木 1878—1935. (b)工学. (c)東大・工 1903. (d)王子火薬製造所・社員. (e)京浜コース (株) 社長. (f)私費 1906—10. (g)

- 1908—10. (h)Rauck 1994, p. 239; 日本人名 (6), p. 59; 人事興信録 10, ミ, p. 44; 渡辺 1978, p. 1024; 手塚 1992(2), p. 370.
- (16) 八木 秀次 (YAGI, Hidetsugu) (a)京都 1886—1976. (b)工学. (c)東大・工 1909. (d)仙台高等工業・教授. (e)東北大・工・教授; 東京工大・学長; 阪大・総長. (f)文部省 1913—16. (g)1913—14. (h)Rauck 1994, p. 447; 日本人名 (7), pp. 785—786; 渡辺 1978, pp. 1180—1181; 秦 1981, p. 238 ((a), (d), (e)).
- (17) 山崎 甚五郎 (YAMAZAKI, Zingorou) (a)京都 1882—1927. (b)工学. (c)京大・理 1906. (d)米沢高等工業・教授. (e)山梨高等工業・校長. (f)文部省 1907—11. (g)1908—11. (h)Rauck 1994, p. 462; 日本人名 (6), p. 338; 渡辺 1978, p. 1034; 手塚 1992(2), pp. 443—444.
- (18) 山田 又一 (YAMADA, Mataichi) (a)兵庫 1891—1949年以後. (b)理学 (?). (c) ?. (d) ?. (e)貿易商・山田兄弟 (合名) 代表. (f)経費不明 1911 (?) — 12. (g)1911—12. (h)Rauck 1994, p. 450; 人事興信録 15, ヤ, p. 29 ((a), (e)).
- (19) 吉村 樞夫 (YOSHIMURA, Tateo) (a)東京 1942—. (b)理学. (c)東京理科大・理 1966. (d)—. (e)千代田化工建設 (株) 幹部. (f)ドイツ民主共和国 1966—71. (g)1967—71. (h)大沢メモ; ドレスデン工大回答; 本人回答.

③ ホテル・ベルヴェーヌ建設

- (1) 阿部 太郎 (ABE, Tarou) (a)東京 1956—. (b)工学. (c)早稲田大・理工 1979. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1982—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (2) 新井 博 (ARAI, Hiroshi) (a)東京 1949—. (b)工学. (c)東京電気大・工 1972. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1982—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (3) 大坪 敏男 (OOTSUBO, Toshio) (a)茨城 1942—. (b)工学. (c)茨城大・工 1965. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1978—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (4) 奥野 康之 (OKUNO, Yasuyuki) (a)東京 1940—. (b)工学. (c)日本大・理工 1964. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1978—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (5) 小沢 真吾 (OZAWA, Shingo) (a)静岡 1947—. (b)工学. (c)東大・工 1969. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1982—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (6) 日下部 誠二 (KUSAKABE, Seizi) (a)神奈川 1937—. (b)工学. (c)東京工大・工 1961. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1976—87. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.
- (7) 島津 護 (SHIMADU, Mamoru) (a)東京 1944—. (b)工学. (c)早稲田大・理工 1968. (d)鹿島建設 (株) 社員. (e)鹿島・幹部. (f)鹿島 1978—85. (g)1982—85. (h)鹿島メモ; 本人回答.

- (8) 清水 繁 (SHIMIZU, Shigeru) (a)群馬 1950—。(b)工学。(c)多摩美術大 1974。(d)鹿島建設(株)社員。(e)鹿島・幹部。(f)鹿島 1982—85。(g)1982—85。(h)鹿島メモ；本人回答。
- (9) 菅野 弘道 (SUGANO, Hiromichi) (a)東京 1942—。(b)工学。(c)日本大・理工 1965。(d)鹿島建設(株)社員。(e)鹿島・幹部。(f)鹿島 1982—85。(g)1982—85。(h)鹿島メモ；本人回答。
- (10) 山根 一夫 (YAMANE, Kazuo) (a)北海道 1947—。(b)工学。(c)愛知県立美大・美術学部 1970。(d)鹿島建設(株)社員。(e)鹿島・幹部。(f)鹿島 1978—81, 1983—85。(g)1983—85。(h)鹿島メモ；本人回答。
- (11) 米林 実 (YONEBAYASHI, Minoru) (a)北海道 1948—。(b)工学。(c)上智大・外国語学部 1970。(d)鹿島建設(株)社員。(e)鹿島・幹部。(f)鹿島 1978—85。(g)1982—85。(h)鹿島メモ；本人回答。

④受け入れ機関不明, その他

- (1) 石津 利作 (ISHIDU, Risaku) (a)京都 1877—1929。(b)医学。(c)東大・医 1900。(d)東京衛生試験所・技師。(e)星製薬綿重役。(f)その他の政府機関 1911—1?。(g)機関不明 1911—12(?)。(h)Rauck 1994, p. 144; 人事興信録 8, イ, p. 146 ((d), (e))。
- (2) 石原 喜久太郎 (ISHIHARA, Kikutarou) (a)島根 1872—1944。(b)医学。(c)東大・医 1902。(d)東大・医・助教授。(e)東大・医・教授。(f)文部省 1911—14。(g)機関不明 1911。(h)Rauck 1994, p. 139; 渡辺 1978, p. 1145 ((e))。
- (3) 伊藤 道郎 (ITOU, Michirou) (a)東京 1893—1961。(b)芸術(舞踏)。(c)慶応普通部。(d)?。(e)舞踏家；伊藤道郎舞踏学校(米国)校長；伊藤道郎舞踏研究所(東京)代表。(f)経費不明 1911—31。(g)エミール・ジャック＝ダルクローズ音楽・リズム学校 (Bildungsanstalt für Musik und Rhythmus Émile Jacque-Dalcroze) 1913—14。(h)Rauck 1994, p. 147; 日本人名 (7), p. 78; Stimmel 1994, S. 202。
- (4) 上田 整次 (UEDA, Seizi) (a)石川 1873—1924。(b)文学。(c)東大・文 1895。(d)東大・文・助教授。(e)東大・文・教授。(f)文部省 1909—13。(g)機関不明 1913。(h)Rauck 1994, p. 431; 日本人名 (1), p. 416; 渡辺 1978, p. 1089 ((e))；手塚 1992(1), p. 147。
- (5) 小倉 公平 (OGURA, Kouhei) (a)東京 1874—1951。(b)工学。(c)東大・工 1899。(d)京大・理工・助教授。(e)京大・工・教授。(f)文部省 1906—09。(g)機関不明 1910。(h)Rauck 1994, p. 299; 日本人名 (7), p. 174; 渡辺 1978, p. 936 ((e))；手塚 1992(1), pp. 227—228 ((d), (f))。
- (6) 河島 右一 (KAWASHIMA, Uichi) (a)島根 1875—1932。(b)医学。(c)東大・医 1907。(d)東大・医・助手。(e)河島病院(東京)院長。(f)私費 1910—12。(g)機関不明 1911。(h)Rauck 1994, p. 179; 帝国大学 1932, カ, p. 100 ((d))；手塚 1992(1), p. 289 ((a), (e))。
- (7) 小寺 房治郎 (KODERA, Fusazirou) (a)大阪 1870—1949。(b)工学。(c)東

- 大・工 1896. (d)農商務省工業試験場・部長. (e)商工省工業試験場・所長. (f)農商務省 1908—10. (g)機関不明 1908. (h)Rauck 1994, pp. 195—196; 渡辺 1978, p. 1077 ((d), (e)); 手塚 1992(1), p. 375.
- (8) 佐藤 恒二 (SATO, Kouzi [Tsunezi]) (a)長野 1878—1952. (b)医学. (c)千葉薬専 1900. (d)学生. (e)佐倉順天堂病院・院長. (f)私費 1901—04. (g)ドレーズデン市立病院・助手 1903—04. (h)Rauck 1994, p. 348; 人事興信録 14, サ, p. 44; 渡辺 1978, p. 821; 順天堂 1980, p. 820 ((e)); 手塚 1992(1), p. 423.
- (9) 高松 正信 (TAKAMATSU, Masanobu) (a)東京 1884—1974. (b)農学. (c)札幌農学校 1907. (d)東北大・農・助教授. (e)北大・農・教授. (f)文部省 1909—13. (g)機関不明 1910, 1912. (h)Rauck 1994, p. 389; 渡辺 1978, p. 1098 ((e)); 北大 1980, pp. 942, 944; 手塚 1992(2), p. 22 ((f)).
- (10) 武島 務 (TAKESHIMA, Tsutomu) (a)埼玉 1863—1890 (ドレーズデン). (b)医学. (c)陸軍軍医学講習所 1885. (d)軍医 (ただし, 87年ベルリーンで免官). (e)死亡. (f)私費 1887—90. (g)ゼーリヒ=ヒレ (R[udolf] Seelig & [Albert] Hille) 商会 (ドレーズデン, 茶輸入・販売業) 従業員 1889—90. (h)長谷川 1991, pp. 420—421, 423—425; 平井 1994, pp. 1—19; 平井 1996, pp. 58—68, 75—92; ザクセン州立図書館回答. Cf. Rauck 1994, p. 396.
- (11) 寺野 寛二 (TERANO, Kanzi) (a)東京 1880—1951. (b)工学. (c)東大・工 1902. (d)明治専門学校・教授. (e)九大・工・教授. (f)私費 1907—09. (g)機関不明 1907—0?. (h)Rauck 1994, p. 411; 帝国大学 1932, テ, p. 6 ((d)); 渡辺 1978, pp. 1046—1047; 手塚 1992(2), p. 95 ((f)).
- (12) 東条 良太郎 (TOUZYU, Ryoutarou) (a)千葉 1869—1937. (b)医学. (c)東大・医 1898. (d)緒方病院 (大阪)・医師. (e)東条病院 (大阪) 院長. (f)私費 1909—11. (g)ドレーズデン市立病院 1909—11. (h)Rauck 1994, p. 414; 日本人名 (4), p. 369; 帝国大学 1922, p. 1039; 渡辺 1978, p. 1113 ((d)); 手塚 1992(2), p. 100 ((f)).
- (13) 長野 幹 (NAGANO, Miki) (a)福井 1877—1963. (b)法学. (c)東大・法 1903. (d)内務省・参事官. (e)鹿児島県・知事; 淡路練乳 (株) 社長. (f)その他の政府機関 1911—12. (g)機関不明 1911. (h)Rauck 1994, p. 263; 山口 1991, p. 1107.
- (14) ぬまだ じんきち (NUMADA, Zinkichi) (a)出身地不明 18??—19??. (b)? . (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 1912—1?. (g)機関不明 1912. (h)Rauck 1994, p. 292.
- (15) 橋本 美奈子 (HASHIMOTO, Minako) (a)東京 1971—. (b)芸術 (舞踊). (c)松山バレエ学校 1986. (d)バレリーナ. (e)は(g)に同じ. (f)ジョン・クランコ・バレエ・アカデミー (Stuttgart) 給費生 1990 (同年パリ国際バレエ・コンクール第2位入賞), ライン・ドイツ歌劇場 (Düsseldorf) バレリーナ 1991—95. (g)ザクセン州立ドレーズデン歌劇場・バレリーナ 1995—. (h)ドレーズデン歌劇場回答 (これによれば, 第二次大戦以後の同歌劇場の正規の日本人メンバーは, 橋本嬢を含むバ

- レリーナ 2 人と、ソプラノ、バス 1 人ずつであって、他は客演であった。橋本嬢以外の 3 人の消息を私は確認することができなかった)；本人回答。
- (16) 平野 耕輔 (HIRANO, Kousuke) (a)東京 1871—1947. (b)工学. (c)東京高等工業 1891. (d)東京高等工業・助教授. (e)商工省陶磁器試験場・場長. (f)文部省 1899—1902, 経費不明 1911—12. (g)機関不明 1900, 1911—12. (h)Rauck 1994, p. 105; 人事興信録 12, ヒ, p. 55 ((d), (e)); 渡辺 1978, p. 781.
- (17) 藤江 永孝 (FUZIE, Eikou [Nagataka]) (g)機関不明 1900, 1901. — 7. バウツェン(1)藤江 永孝 (FUZIE, Eikou [Nagataka]) を見よ.
- (18) 淵田 俊治 (FUCHIDA, Shunzi) (a)大阪 1879—1970年頃. (b)医学. (c)岡山医専 1903. (d)岡山医専・助手 (?). (e)淵田病院 (大阪) 院長. (f)私費 1907—09. (g)ドレーズデン病院 1908. (h)Rauck 1994, p. 65; 岡山大学医学部回答 ((a), (e)).
- (19) 逸見 知久 (HENMI, Tomohisa) (a)石川 1880—1943年以後. (b)? . (c)? . (d)加賀前田家・家令. (e)湯浅蓄電池製造 (株) 重役. (f)経費不明 1913—14. (g)機関不明 1914. (h)Rauck 1994, p. 100; 人事興信録 14, ヘ, p. 2 ((a), (e)).
- (20) ほりこし つねひち (HORIKOSHI, Tsunehichi) (a)出身地不明 18??—19??. (b)? . (c)? . (d)? . (e)? . (f)経費不明 1908—??. (g)機関不明 1909—??. (h)Rauck 1994, p. 114.
- (21) 益子 務 (MASUKO, Tsutomu) (a)大阪 1939—. (b)音楽. (c)京大・教育 1965. (d)武庫川女子大学・音楽学部・助教授. (e)武庫川女子大・音楽・教授. (f)ドイツ民主共和国 1982 (?) —. (g)国立ドレーズデン歌劇場・オペラスタジオ教授 1982 (?) —. (h)音楽家人名事典 1996, p. 433; 京大 1993, p. 1863 ((c)).
- (22) 松尾 展成 (MATSUO, Nobushige) (a)長崎 1935—. (b)経済学. (c)東大・経済 1958. (d)岡山大・法文・助教授. (e)岡山大・経済・教授. (f)私費 1973. (g)国立ドレーズデン文書館 1973.
- (23) 松本 武雄 (MATSUMOTO, Takeo) (a)東京 1871—1931年以後. (b)経済学. (c)東京高商 1893. (d)高岡商業学校・校長. (e)東京モスリン紡織綯重役. (f)経費不明 1902—0?; 1909—??. (g)機関不明 1908 (?) —09. (h)Rauck 1994, p. 229; 人事興信録 9, マ, p. 131 ((a), (d), (e)).
- (24) 宮島 幹之助 (MIYAZIMA, Mikinosuke [Kannosuke]) (a)山形 1872—1944. (b)医学. (c)東大・理 1898. (d)伝染病研究所・技師. (e)慶応大・医・教授; 北里研究所・副所長. (f)その他の政府機関 1911 (?) —12. (g)機関不明 1911. (h)Rauck 1994, p. 243; 日本人名 (7), p. 758; 人事興信録 14, ミ, p. 93; 昭和物故 1983, p. 481.
- (25) 村上 宇一 (MURAKAMI, Uichi) (a)山口 1879—1971. (b)工学. (c)京大・理工 1906. (d)京都高等工芸・教授. (e)京都高等工芸・校長. (f)文部省 1912—14. (g)機関不明 1913—14. (h)Rauck 1994, p. 256; 帝国大学 1932, ム, pp. 7—8; 渡辺 1978, p. 1145; 手塚 1992(2), p. 394 ((c), (d)); 京都工芸繊維大学回答 ((a), (e)).

- (26) 若杉 弘 (WAKASUGI, Hiroshi) (a)東京 1935—.(b)音楽.(c)東京芸術大・音楽学部 1961.(d)ケルン放送交響楽団・首席指揮者, ライン＝ドイツ歌劇場・音楽総監督.(e)は(g)に同じ.(f)ドイツ民主共和国, のちザクセン州 1982—.(g)国立ドレーズデン管弦楽団および歌劇場・常任指揮者 1982—91; 州立ドレーズデン歌劇場・音楽総監督 1991—(テューリヒ＝トーンハレ管弦楽団・芸術総監督, NHK 交響楽団・指揮者を兼任).(h)音楽家人名事典 1996, p. 44.